

水稻・和牛繁殖・米集荷販売の3本柱で地域をリードする法人経営  
～県農業法人協会会長としてスーパertップランナーへの発展を牽引～  
有限会社 山形川西産直センター（川西町）

## 1 受賞者の概要

- (1) 平成7年8月 有限会社設立
- (2) 構成員：役員3名、常時雇用4名、臨時雇用1名
- (3) 経営内容：水稻、水稻作業受託、牧草、和牛繁殖、米集荷販売、資材販売

## 2 特色ある活動

### (1) 農業のトップランナーとしての経営を確立

- ア 過去5年間、農業のトップランナーとしての収入金額を維持
- イ 米の流通形態が変わることを見据え、米集荷部門を縮小し、米生産部門を拡大中
- ウ 平成25年から導入した和牛繁殖部門は、順調に売上を伸ばしている

### (2) 山形県農業法人協会会長として県内農業法人を牽引

- ア 代表取締役は32歳で県農業法人協会に入会し、平成19年度から9年副会長を務める
- イ 平成28年度に会長に就任
- ウ 「個々の経営発展はもとより、農業と農業法人の社会的評価の向上・本県農業の発展を目指す組織」である県農業法人協会の活動を牽引
- エ 県農業法人協会からは、スーパertップランナーとしての経営体を多数輩出

### (3) 米の販路開拓

- ア 農業法人協会の会員等と連携して販路開拓に取り組み、主な販売先は商社、  
外食産業、米小売業者、病院、障害者支援施設等

### (4) ICT技術を活用した繁殖牛飼養管理技術の向上

- ア 分娩監視装置を導入し、分娩時の事故を未然に防ぎ、繁殖性を向上
- イ 分娩監視装置の導入により、分娩時の待機時間を縮小し、飼育員の負担を軽減

### (5) 地域への貢献

- ア 当法人から出荷される雌子牛の大部分は米沢牛となり、  
米沢牛ブランドの維持発展に貢献
- イ 中山間の荒廃した農地を借り入れ、水稻を作付けして  
再生利用

## 3 今後の発展方向

- (1) 水稻の経営規模を約40haまで拡大
- (2) 将来的に母牛200頭規模に拡大し、売上1億円を目指す
- (3) 代表取締役の妻が「やまがた農業経営塾」を受講中でスーパertップランナーへの経営発展を目指す



法人役員と従業員の皆さん